

平成25年度 予算特集号

広報
Ako City
Public
Relations



2013
Special Number
平成25年4月10日発行



4ヵ月児健診(3/27 総合福祉会館)

人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち を目指して

- 平成25年度当初予算総額 507億7,015万円…………… P 2～3
- 平成25年度一般会計当初予算総額 214億5,000万円…………… P 4～5
市民ひとりあたりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策…………… P 6～15
- 写真でみる予算…………… P 16

●各会計別予算額

会計区分	平成25年度当初予算額	平成24年度当初予算額	前年度比 (%)	
一般会計	214億5,000万円	208億6,500万円	2.8	
特別会計	国民健康保険事業	57億300万円	55億7,400万円	2.3
	職員退職手当管理	6億820万円	5億6,300万円	8.0
	公共下水道事業	52億970万円	39億8,040万円	30.9
	農業集落排水事業	2億8,670万円	2億3,130万円	24.0
	墓地公園整備事業	1,190万円	1,390万円	△14.4
社会	介護保険	35億7,330万円	33億6,630万円	6.1
	駐車場事業	1億2,190万円	1億2,190万円	—
企業会計	土地区画整理事業清算金	120万円	240万円	△50.0
	後期高齢者医療保険	6億1,670万円	6億880万円	1.3
	小計	161億3,260万円	144億6,200万円	11.6
企業会計	病院事業	109億6,947万円	109億9,490万円	△0.2
	介護老人保健施設事業	3億2,980万円	3億3,304万円	△1.0
	水道事業	18億8,828万円	17億170万円	11.0
	小計	131億8,755万円	130億2,964万円	1.2
合計	507億7,015万円	483億5,664万円	5.0	

「人が輝き自然と歴史・文化が薫る
やさしいまち」を目指して

平成25年第1回定例会において新年度予算等が成立しました。
2月18日に豆田市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の
要と予算のあらましについてお知らせします。



現下の社会経済情勢のもと、本市の財政状況は、昨年の法人実効税率の引下げに伴う法人市民税の減収に加えて、地方交付税の伸びも期待できないことなどにより、基金を取り崩さざるを得ない財政環境におかれています。

私が市長に就任してから、10年余が経過し、3期目の任期も折り返し点を過ぎましたが、この間、議員各位をはじめ、多くの市民の皆様温かいご支援とご協力をいただきながら、「元気で魅力あふれる将来にわたって輝き続けるまち」を目指し、市政発展と市民の幸せづくりのため、全力を傾注してまいりました。

特に、市政運営にあたりましては、常に市民の目線で、公平で公正な「市民本位の市政」の推進に、誠心誠意取り組んできたところであり、今後もこれまでの基本姿勢を大切にして、市政運営にあたっていききたいと考えています。

このため、今後とも簡素でより効率的な行政運営を行うため、現在策定中の「第7次赤穂市行政改革大綱」に基づき、更なる行政改革を推進し、「選択と集中」による施策・事業の重点化に取り組み、誰もが「住んで良かった 住み続けたい 住んでみたい」と思えるような元気で魅力あふれる赤穂のまちづくりを、市民の皆様と協働して着実に進めていかなければなりません。

重点施策・その1
子育て支援対策

本格的な人口減少、少子高齢化が急速に進展している中、安心して子どもを産み育てることができる環境を充実させ、家庭、地域、企業などが一体となつて、次の時代を担う子どもたちがすこやかに育つ社会づくりを進めていかなければなりません。このため、後期5か年の赤穂子どもプランに基づき、多様化する子育てニーズに対応できる支援施策を包括的・体系的に推進します。

や提供体制の確保を図ることなどを内容とする「子ども子育て支援計画」を策定するほか、引き続き妊産婦健康診査費や乳児健康診査費及び特定不妊治療費、出産費の助成を行い、妊娠・出産に係る経済的負担の軽減を図ります。

医療費助成についても、引き続き乳幼児から中学3年生までの外来・入院医療費に係る一部負担金の全額を公費負担します。また、児童虐待防止対策として、年間を通じて路線バスに車外広告を掲載し、児童虐待防止のための啓発を行います。

子育てしやすい環境の整備として、保育所での延長保育や一時預かり事業を引き続き実施するほか、幼稚園での預かり保育については、新たに年少4歳児を対象児童に追加し、有年・原幼稚園を加えたすべての幼稚園において、専任の教諭を配置し、引き続き午前7時30分からの早朝保育、預かり時間の午後6時までの延長、春季、夏季及び冬季の長期休業日における保育を実施し、幼児教育の充実を図ります。

また、市内全幼稚園において、就園前（3歳児）親子を対象とした年8回の保育を実施し、同年齢の子どもが一緒に遊んだり、親同士が子育てについて話し合

を開催するなど、スポーツを通じての交流も積極的に推進するとともに、赤穂海浜公園の北側に児童厚生施設（児童館）を併設した多目的運動施設の整備に着手するほか、同公園東側に県と一体となつて整備を進めてきた赤穂元禄スポーツセンターを供用開始するなど、スポーツ・レクリエーション拠点としての機能向上を図ることによって、スポーツによる元気なまちを目指します。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、関係機関と連携しながら、多彩なイベント等を実施するほか、引き続き観光周遊バス「くらちゃん号」を運行するとともに、観光マスコットキャラクター「陣たくん」を活用したPR活動を積極的に行うなど、観光客の増加や交流人口の拡大につながる取り組みを進めます。また、平成25年度の義士祭については、土曜日開催の第110回記念義士祭となることから、いきつき広場での観客席の設置や多くの義士ファンの参加による特別編成の義士行列をはじめ、忠臣蔵ウィーク開催への助成を行うなど、市民あがりの参加型の義士祭づくりに向けて取り組むほか、老朽化した観光案内看板の更新にも努めます。

重点施策・その3
安全・安心対策

最近では、従来の経験やデータが通用しない風水害が発生し、近い将来には山崎断層帯地震や南海トラフ巨大地震などの発生も懸念されており、これらの自然災害だけではなく、新型ウイルスによる新たな感染症の発生など、あらゆる危機に備えて、危機意識の高揚と防災意識の向上を図る必要があります。

防災対策については、新たに地震、津波、風水害等の自然災害から、市民の生命、身体を守るため、防災行政無線の整備に着手し、迅速・的確な情報伝達体制の整備を図るほか、大規模

う場を提供します。さらに、アフタースクール子ども育成事業やベビーシート・ベビーカーを設置する子育てバリアフリー化事業、幼児2人同乗用自転車購入助成事業、子育て情報携帯システム事業などに引き続き取り組み、子育て支援策のより一層の充実を図ります。施設整備については、赤穂東中学校区児童館を建設します。

重点施策・その2
地域の活性化対策

人口減少社会を迎え、地域の活性化を図るためには、地域産業の振興と雇用機会の創出やにぎわいづくり、地域特性を活かした定住・交流の推進を支援する各種施策の展開が必要です。

企業誘致については、昨年制定しました工場立地法準則条例によって、工場に義務づけられている緑地や環境施設の面積率が緩和されたことに伴い、市内企業の設備投資に向けた取り組みも見られるようになっていいますので、企業留置の視点を加えながら、引き続き積極的に取り組めます。

また、市内に居住する新規高卒者の市内事業所への就業拡大を図るため、新たに雇用奨励金交付事業を創設するほか、引き

災害時等における被災者や、復旧・復興業務を支援するシステムを導入するとともに、引き続き各種気象情報等を迅速に伝達する「ひょうご防災ネットワーク」の運営や標高表示板を継続して設置します。

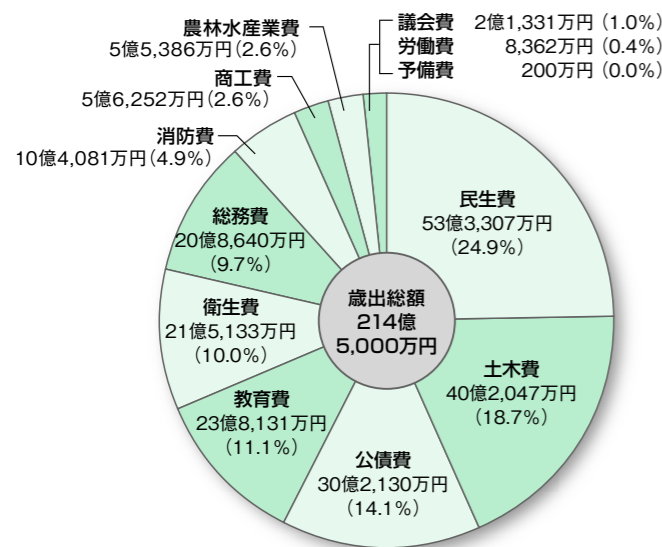
平成24年度補正予算で対応しています御崎小学校、坂越小学校及び赤穂中学校での耐震対策補強工事を実施するほか、平成27年度中の市内全小・中学校耐震化に向けた実施設計についても、計画的に推進します。また、大規模地震発生に備えて、小・中学校における戸棚などの転倒防止対策として非構造部材耐震対策事業を実施します。

また、感染症対策については、感染防止のための資器材の整備に引き続き努めます。日常生活の安全・安心対策としては、都市公園の遊具の整備を行うほか、小・中学生を対象に心肺蘇生法等の知識・技術を習得させるための救急教室の開催や防災・防犯教育などを実施します。

また、市民生活や社会経済活動の場から暴力団を排除するため、赤穂市暴力団排除条例に基づいて、安全で平穏な市民生活の確保と事業活動の健全な発展に努めます。

歳出

歳出面では、人口減少社会に的確に対応するため、「子育て支援対策」、「地域の活性化対策」に係る施策について、重点的に配分するとともに、東日本大震災等の災害を教訓とした防災対策の推進等、「安全・安心対策」に係る施策についても重点的な配分を行いました。

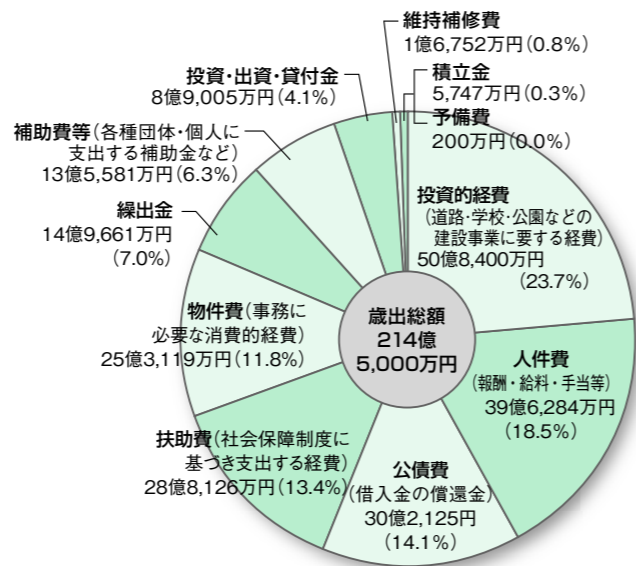


目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

性質別内訳

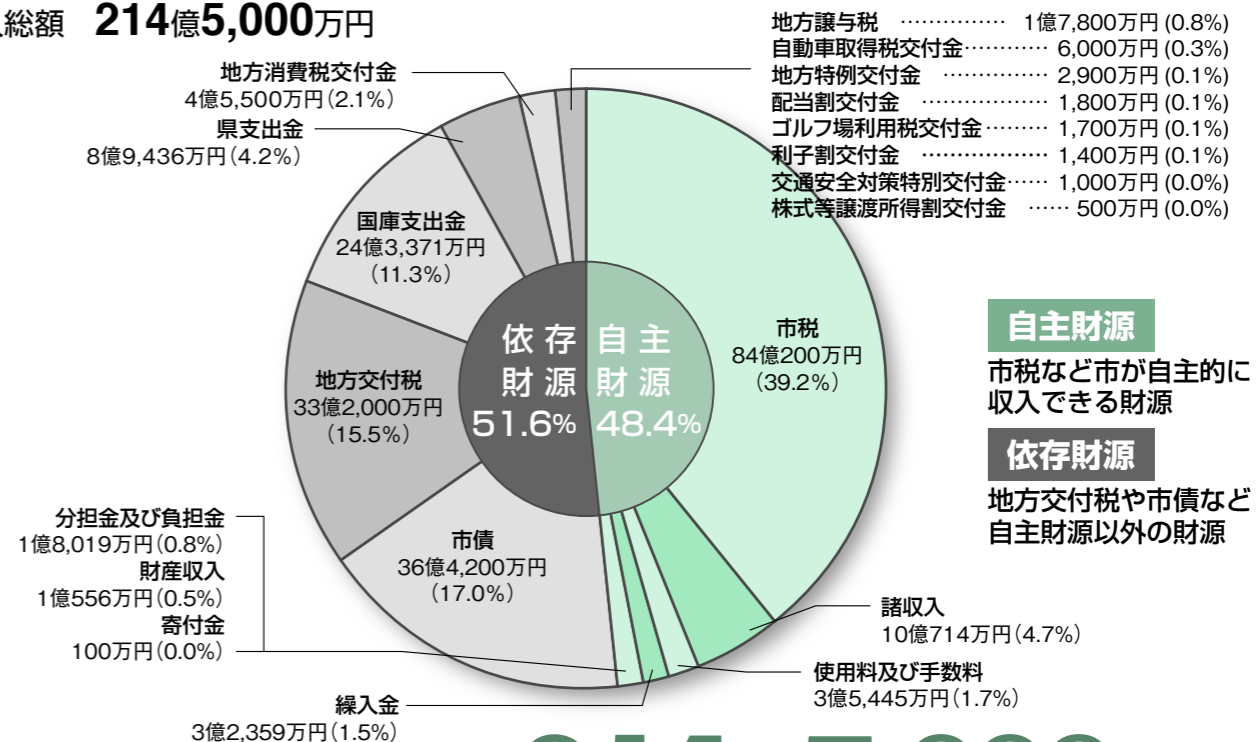
経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



歳入

歳入面では、地方交付税に臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額については、社会保障関係経費の増加等により当初予算ベースでは増額を見込んだものの、法人実効税率の引き下げ等により市税収入の大きな伸びが期待できないなど、引き続き厳しい財政状況であり、財政調整基金や健康管理施設整備基金などの基金から2億5,000万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

歳入総額 214億5,000万円



自主財源

市税など市が自主的に収入できる財源

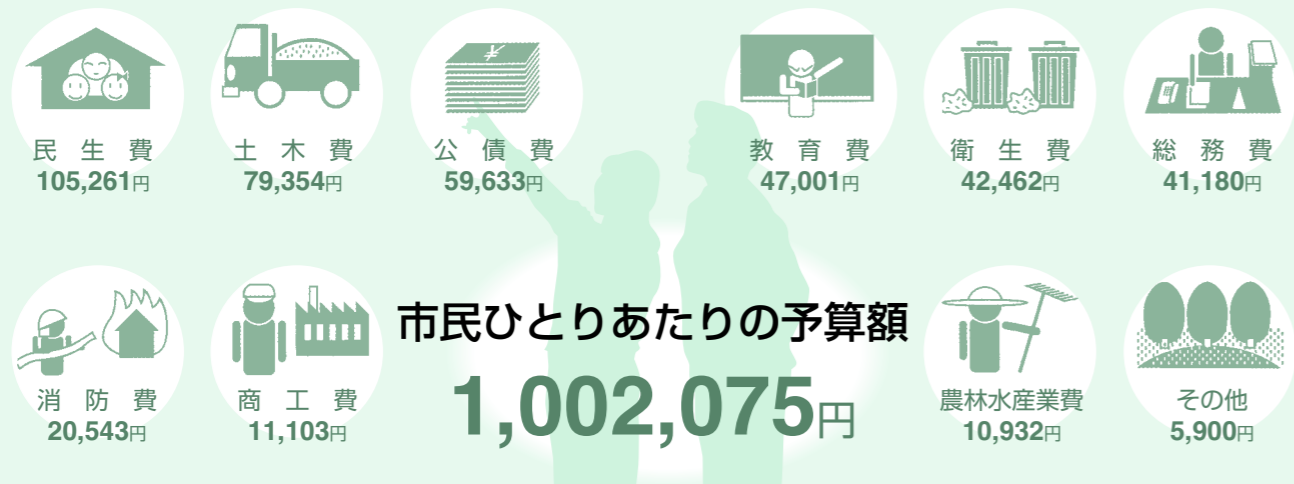
依存財源

地方交付税や市債など自主財源以外の財源

214億5,000万円

平成25年度 一般会計予算

一般会計 423,369円

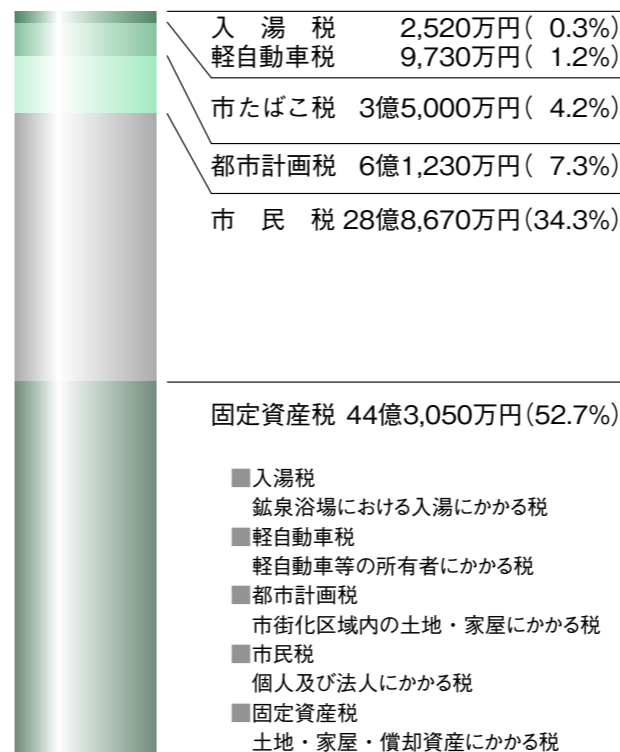


特別会計・企業会計(抜すい) 578,706円

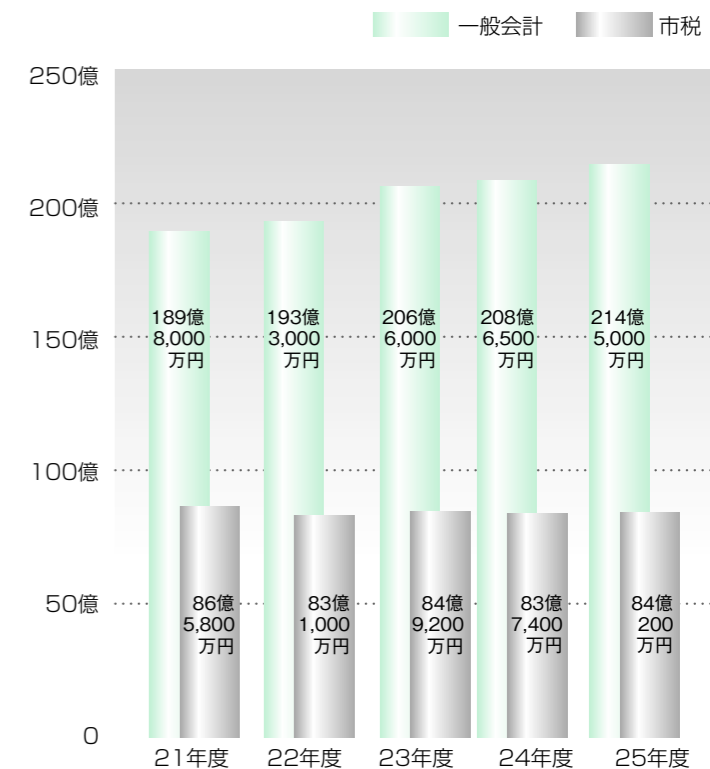


(平成25年2月末現在の人口50,665人で計算したものです)

市税の内訳 総額84億200万円



年度別当初予算額と市税の推移





5本の柱ごとの主要施策

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を実現するための市政の5つの柱、「安全・安心に生活できるまち」「自然と共生する住みよいまち」「産業と交流が盛んな活力のあるまち」「生涯にわたり夢を育むまち」「市民と行政がともに歩むまち」に沿って順次ご紹介します。

第1の柱

安全・安心に生活できるまちづくり

おもいやりに満ちた福祉社会の構築

本市の高齢化率は、平成25年1月末で26・5%となり、少子高齢化が急速に進展する中、次の時代を担う子どもたちや高齢者、障がい者をはじめ、すべての市民が住み慣れた地域で支え合いながら、安心して暮らせる「ユニバーサル社会」の実現に向け、すべての人にやさしいまちづくりを進めることが求められています。

このため、地域福祉計画に基づき、総合的な福祉施策や地域で相互に助け合う地域福祉活動を推進し、社会福祉協議会や関係機関、福祉団体等との連携を深め、市民ボランティア、NPOなどの自主的な参加支援も得ながら、地域福祉力の向上に努めます。

また、人にやさしい福祉のまちづくりを推進するため、引き続き市道での段差の解消や赤穂城跡内の園路改修などを実施するほか、市役所第三庁舎にエレベ

ーター設備を設置し、来庁者の利便性の向上を図るなど、施設のバリアフリー化を推進します。児童福祉については、後期5か年の赤穂こどもプランに基づき、安心して子どもを産み育てることができ、すこやかに成長できる環境を整備します。

このため、延長保育や乳児保育、一時預かり事業などの保育サービスをはじめ、市内6か所のアフタースクールの運営などを引き続き行うほか、児童虐待防止のための啓発を継続して行います。

また、赤穂東中学校区児童館の建設や子育てバリアフリー化事業などのハード面の整備のほか、幼児2人同乗用自転車購入助成などソフト面についても配慮します。

母子家庭等への支援策として、母子家庭高等技能訓練促進事業や自立支援教育訓練給付事業を実施し、引き続き就業支援を行います。

障がい者福祉については、障がい者福祉長期計画に基づき、体系的に推進するほか、介護給付や訓練等給付などの障がい福祉サービスの提供、地域生活支援事業として相談支援や日常生活用具の給付、地域活動支援センターへの事業補助などを行い

ます。また、障がいのある方がスポーツ活動を通じて、社会参加を促進できるような環境整備を進め、障がい者スポーツの普及に努めます。

心身障害児療育事業については、言語指導・機能訓練などの専門的指導の充実を図るとともに、西播磨療育事業との連携にも努めます。

高齢者福祉については、介護を必要とする方が、適切な介護サービスを受けられるよう基盤整備を推進するとともに、高齢者等が要支援・要介護状態にならないよう地域包括支援センターと在宅介護支援センターとの連携により、介護予防事業を推進し、生活機能低下の早期発見、早期対応を図ります。

また、生きがいデイサービスやホームヘルプサービスなどの介護支援事業のほか、自立支援配食サービスや緊急通報システム事業などの地域支援事業も実施します。

さらに、高齢者を支えるネットワーク推進事業を引き続き実施し、生活圏域ごとの地域支援合い体制の整備を図ります。

国民健康保険制度については、急速な高齢化の進展、疾病構造の変化や医療技術の高度化等により、医療費は年々増加してお

り、その財政運営は、依然として厳しい状況が続いています。本年度の国保財政は、医療費の算出に当たり、被保険者数の推移、医療費動向等を考慮したものとされています。なお、保険税については、財政調整基金の活用や一般会計からの繰り入れにより、課税限度額、税率等を据え置きます。

一人当たり医療費は、依然として県下では高い水準にあることから、医療費抑制の対策として、特定健康診査等事業の実施による生活習慣病の予防対策を行うとともに、受診勧奨による未受診者対策を行い、健診受診率の向上を図るほか、第2期特定健康診査等実施計画の着実な推進などにより、被保険者の健康増進に努めます。さらに、後発医薬品の使用を引き続き促進し、医療費の適正化対策を推進します。

また、保険料収納率向上対策の一環として、納税相談の実施や短期被保険者証などの発行を通じての面談機会の確保等により、国保事業への理解と納税意識の高揚を図り、国保財政の健全化・安定化に努めます。

介護保険制度については、昨年度、保険料基準額や保険料設定の段階区分の見直しなどを

いしましたが、本年度は第5期介護保険事業計画の2年目を迎え、給付費の推移及び地域支援事業の実態等に対応しています。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収各種申請の受付等、市民の皆様窓口としての役割を果たします。また、今後の高齢者医療制度のあり方については、社会保障制度改革国民会議において検討し、結論を得ることから、今後の動向について注視していきます。

福祉医療費等助成制度については、乳幼児から中学生までの医療費をはじめ、高齢者や障がい者など、すべての市民が適切な医療を受けられるよう医療費への助成を行います。

生活保護受給者に対しては、社会的自立及び生活自立への支援を行うため、セーフティネット支援対策事業として、引き続き就業支援相談等を行うための就業支援員を配置します。

人権文化の創造については、女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人・同和問題などに関する差別や、人権侵害を解消するための教育・啓発活動に取り組み、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重する社

保健・医療サービスの充実

生涯にわたる健康づくりの推進については、予防活動の充実、指導・啓発事業の推進、健康づくり推進体制の強化に努め、関係機関と連携しながら健康への意識啓発を図り、ライフステージに応じたきめ細やかな健康づくりを推進し、疾病の予防と早期発見に努めます。

このため、生活習慣病予防を目的とする特定健康診査を行うほか、特定保健指導の実施方法を見直し、積極的支援などの保健指導の実施率の向上を図ります。女性のがん検診及び大腸がん検診については、引き続き特定年齢層に無料クーポン券を配布するほか、新たに子宮がん検診にHPV検査を追加するなど、がんの早期発見を図るとともに、女性のがん検診受診時における乳幼児預かり事業を実施します。

また、母子保健対策として、引き続き妊産婦健康診査や乳児健康診査に対する助成を実施し、法定の健康診査との連携により、妊産婦や乳幼児の疾病の早期発見、早期治療に取り組みます。

さらに、感染症予防対策として、肺炎球菌や子宮頸がん予防などのワクチン接種費用の一部または全部を助成します。

なお、食育の推進については、健康増進計画に基づき、イベントの開催などによる食育の普及・啓発に取り組みます。

病院事業については、地域及び診療科の偏在等により呼吸器科、眼科の常勤医師が採用できず不在の状態が続いていることに加え、西播磨2次医療圏域及び岡山県東部地域の人口減少、医療費に対する負担感が増したことによる診療控えなどにより患者数が減少しています。さらに、効果的で効率的な医療提供を進めた結果、平均在院日数が短縮したことにより入院延患者数も減少しています。

一方、看護師の配置については、西日本各地の学校等を訪問し勧誘に努めており、また修学貸付資金を借りる看護学生が増えています。現時点では7対1看護体制の取得には至らない状況です。

さらに、多くの新人看護師採用に対する教育体制が整わないことから、夜間の看護師勤務体制維持が困難になってきており、1病棟を休ませざるを得ないこととなりました。

生活の安全・安心の確保

台風や集中豪雨、地震・津波などの自然災害や火災などから市民の生活を守るためには、被害の拡大を抑え、被災した社会を早期に安定させる「減災」への取り組みと危機意識の高揚が重要です。

さらに、今日では自然災害だけでなく、新型ウイルスによる感染症、子どもの安全確保、消費生活の安全・安心対策など、日常生活における安全・安心に対する市民の関心が一段と高まっています。





★印＝新規(拡充)事業（1万円未満四捨五入）

安全・安心に生活できるまち

おもいやりに満ちた福祉社会を築く

- ①みんなで支え合う地域福祉を進める
- ・地域総合支援システム推進事業 ……163万円
- ★社会福祉法人権限移譲事務委託経費 ……15万円
- ・民間福祉活動活性化促進事業 ……374万円
- ・ユニバーサル社会づくり推進事業 ……68万円
- ・庁舎整備事業 ……1,500万円
- ★第二庁舎エレベーター設置
- ・福祉のまちづくり推進事業 ……2,000万円
- ②子育てしやすい環境をつくる
- ・子育て支援事業 ……8,096万円
- ▷アフタースクール子ども育成事業(3,070万円)
- ▷アフタースクール整備事業(2,175万円)▷子育て家庭ショートステイ事業(20万円)▷キンダースクール子ども育成事業(81万円)▷絵本文庫整備事業(12万円)▷幼児2人同乗用自転車購入助成事業(150万円)▷子育て情報携帯システム事業(64万円)▷ファミリーサポートセンター事業(180万円)▷保育所子育て支援機能充実事業(91万円)▷要保護児童対策地域協議会推進事業(162万円)▷児童虐待防止啓発事業(91万円)▷出産費助成事業(2,000万円)

利用者負担軽減措置事業外(38万円)

- ・高齢者住宅改造成績事業 ……490万円
- ・ねたきり老人等対策事業 ……51万円
- ・老人福祉センター利用促進事業 ……80万円
- ・在宅介護支援センター運営委託事業 ……560万円
- ・ひとり暮らし老人等火災警報器購入助成事業 ……18万円
- ・敬老長寿ふれあい事業 ……908万円
- ・高齢者を見守る支えるネットワーク推進事業 ……158万円
- ・介護老人保健施設事業 ……2億7,154万円
- ・介護保険事業
- 保険給付サービス ……34億2,300万円
- ▷介護サービス等(30億6,440万円)▷介護予防サービス等(1億3,310万円)▷高額介護サービス(6,910万円)▷特定入所者介護サービス等(1億5,640万円)
- 地域支援事業 ……5,493万円
- ▷介護予防事業(846万円)▷包括的支援事業(3,193万円)▷任意事業(1,454万円)
- サービス事業 ……1,417万円
- 保険料 第1号被保険者(65歳以上)の保険料の基準額 月額4,350円

⑤社会保障制度を適切に運営する

- ・セーフティネット支援対策事業 ……595万円
- ・福祉医療費等助成制度の充実 ……4億3,715万円
- ▷母子家庭等医療費(2,092万円)▷乳幼児等医療費(2億4,986万円)▷老人医療費(1,746万円)▷重度障害者医療費(5,818万円)▷高齢重度障害者医療費(8,953万円)▷小児特定疾患医療費(120万円)
- ・他公費負担医療費助成事業 ……62万円
- ⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる
- ・人権啓発事業 ……149万円
- ★西播磨人権のつどい開催経費 ……132万円

⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる

- ・児童手当 ……8億4,770万円
- ・母親クラブ補助金 ……105万円
- ・母子家庭就業支援事業 ……134万円
- ・保育所運営費(事業経費) ……5,793万円
- ▷延長保育事業＝午後7時まで(赤穂・塩屋・尾崎保育所) 午後6時まで(御崎・坂越・有年保育所)
- ▷乳児保育事業＝全保育所▷保育所一時預かり事業＝御崎・坂越・有年保育所
- ・多子世帯保育料軽減事業 ……98万円
- ・子育てバリアフリー化事業 ……82万円
- ・児童遊園地整備事業 ……360万円
- ・折方児童センター整備事業 ……85万円
- ・児童館整備事業 ……337万円
- ★赤穂東中学校区児童館備品整備外
- ・保育所整備事業 ……1,280万円
- ③障がい者が自立しやすい環境をつくる
- ・自立支援給付 ……6億5,720万円
- ▷介護給付等支給事業(6億3,000万円)▷障害者(児)補装具給付事業(1,080万円)▷自立支援医療費支給事業(1,640万円)
- ・障害者(児)福祉推進事業 ……1,550万円
- ▷経済支援事業(1,335万円)
- ▷日常生活支援事業等(216万円)
- ・障害者地域生活支援事業 ……4,859万円
- ・心身障害児療育事業 ……986万円
- ▷あしたは園事業(830万円)▷西播磨療育事業負担金(156万円)
- ★障がい者スポーツ普及事業 ……190万円
- ★障がい者虐待防止対策支援事業 ……57万円
- ★障がい者就労施設等支援事業 ……220万円
- ・障害福祉サービス事業所整備事業 ……210万円
- ④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる
- ・高齢者福祉対策事業 ……1,039万円
- ・介護支援事業 ……809万円
- ▷ヘルパースervice充実事業(321万円)▷生きがいデイサービス事業(450万円)▷介護サービス

保健・医療サービスを充実する

- ①生涯にわたる健康づくりを進める
- ・健康づくりの推進 ……418万円
- ・予防接種費助成事業 ……4,340万円
- ▷肺炎球菌予防接種▷子宮頸がん予防接種▷インフルエンザ菌b型(ヒブ)予防接種▷小児肺炎球菌予防接種
- ・母子保健対策の推進 ……650万円
- ▷子育て応援隊活動事業(123万円)▷育児健康支援事業(82万円)★母子訪問指導(50万円)▷乳幼児健診(317万円)▷むし歯予防対策事業(78万円)
- ・健康増進対策の推進 ……1億2,443万円
- ★特定保健指導(情報提供、動機づけ支援、積極的支援に区分して指導・618万円)★健康診査(生活習慣病健診、女性のがん検診、がん検診推進・1億1,742万円)▷歯科健診(歯周病健診・83万円)
- ・健康診査費等助成事業 ……3,938万円
- ▷妊婦健康診査費(3,280万円)▷産婦健康診査費(81万円)▷乳児健康診査費(275万円)▷特定不妊治療費(302万円)
- ★あこが食育推進事業 ……90万円
- ・国民健康保険税
- ▷医療分・後期高齢者支援金分(財政調整基金

- を活用し、課税限度額、税率等は据え置き)▷介護納付金分(一般会計からの繰入れにより、課税限度額、税率等は据え置き)
- ②安心できる地域医療体制をつくる
- ・休日急患診療委託料 ……373万円
- ・西播磨病院群輪番制運営委託事業 ……1,997万円
- ・市民病院整備事業 ……3億9,498万円

生活の安全・安心を確保する

- ①災害に強いまちをつくる
- ・大規模災害対策用消防資材整備事業 ……100万円
- ・西播磨広域防災備蓄物資整備事業 ……360万円
- ▷西播磨広域防災対策推進協議会防災物資(★折りたたみリヤカー外)の備蓄
- ・救援物資対策経費 ……62万円
- ★特設公衆電話設置事業 ……8万円
- ▷災害時特設公衆電話の設置▷各地区公民館、小中学校等25箇所
- ・コミュニティ防災訓練経費 ……43万円
- ・防災総合訓練経費 ……100万円
- ・防災意識普及啓発事業 ……20万円
- ★被災者支援システム運営経費 ……28万円
- ・ひょうご防災ネットシステム運営経費 ……142万円
- ・避難所等標高表示板設置事業 ……1,000万円
- ★詳細表示板16箇所外
- ・住宅耐震改修助成事業 ……45万円
- ・簡易耐震診断推進事業(30戸) ……91万円
- ★非構造部材耐震対策事業 ……[再掲 150万円]
- ・耐震診断推進事業 ……300万円
- ・新型インフルエンザ感染防止対策事業 ……70万円
- ・河川改修事業 ……950万円
- ★震災対策農業水利施設整備事業 ……120万円
- 湯の池内池
- ・治山事業 ……812万円
- ▷県単独補助(周世地区外)、市単独(緊急修繕外)
- ・津波・高潮危機管理対策事業 ……4,301万円
- ★防災行政無線整備事業 ……1,400万円
- ▷基本設計、実施設計

- ②消防・救急救助体制を充実する
- ★消防団員安全装備品整備事業 ……400万円
- ▷保安帽及び防寒衣
- ・救助服整備事業 25着 ……104万円
- ・救急業務高度化推進事業 ……780万円
- ・ジュニア救急教室実施事業 ……100万円
- ・緊急消防援助隊個人装備整備事業 ……90万円
- ・AED整備事業 ……301万円
- ・消防施設整備事業 ……7,031万円
- ▷泡原液搬送車(赤穂消防署)▷消防ポンプ自動車(第4分団)★小型動力ポンプ整備事業(有年槽原地区外)▷消火栓設置外
- ③交通安全・防犯意識を高める
- ・自主防犯活動推進事業 ……44万円
- ・暴力団対策事業補助金 ……98万円
- ・地域サポート安全対策事業 ……131万円
- ・交通安全施設等整備事業 ……1,300万円
- ・公共灯整備事業 ……330万円
- ④消費生活の安全を守る
- ・消費者行政活性化事業 ……292万円

は、市内一円の防護柵やカーブミラーなど交通安全施設の整備を危険箇所や通学路を中心に計画的に進めるほか、関係機関の協力を得ながら、あらゆる機会を通じて、交通マナー遵守への呼びかけ運動などの交通安全運動や交通事故防止運動を推進します。

防犯対策については、LEDによる公共灯の設置を行うとともに、特に、子どもたちの安全確保のため、小学校新1年生に防犯ブザーを配布するほか、スクールガードリーダーの配置や携帯メールによる保護者への不審者情報の提供を行います。

消費者対策としては、消費者生活センターを核として、消費者の安全と利益を守るため、消費者生活相談員の配置や啓発講演会を開催するなど、相談活動や啓発活動を推進します。また、消費者協会と連携しながら、消費者学習活動やリサイクル運動など、消費生活向上につながる活動を積極的に支援します。

自然と共生するまちづくり

「環境進化都市・赤穂」の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって、持続可能な環境づくりに自主的・積極的に取り組むことが必要です。

生活環境づくりにについては、赤穂市環境基本計画に基づき、大気や水質等に関する環境調査を実施するほか、環境への負荷を減らし、良好な環境を維持していくために、積極的な情報提供や啓発活動に努めます。

また、事業所に対する環境パートナーシップ登録制度の普及啓発や「赤穂子どもエコクラブ」を開催し、環境学習の場を提供します。

生活環境の整備については、公共下水道整備として、引き続き有年ポンプ場の施設整備に取り組みとともに、土地区画整理地内の雨水及び汚水管渠等の整備を行うほか、特定環境保全下水道整備として中継ポンプ場の老朽化に伴う設備更新などを実施します。

なお、平成25年度末には、生活排水整備面積は1,573.3ha、人口普及率は99.6%となる見込みです。

地球温暖化対策については、

魅力ある都市空間の形成

引き続き住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して、費用の一部を助成するほか、庁用車等へのハイブリッド車の導入も進めます。また、平成24年度の補正予算で対応しています。が、坂越小学校に発電量20kwの太陽光パネルを設置するなど、低炭素社会に向けた取り組みを推進します。

ごみ処理施設の整備については、施設の延命化と処理効率の向上を図るため、本年度から3か年計画で、ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の大規模改修を実施します。

また、ごみリサイクルシステムの推進については、ごみの減量、資源化を図るため、生ごみ処理機の購入助成や資源ごみ回収団体への助成を継続実施します。

なお、本年7月より、ごみステーションに排出した資源ごみの持ち去りを防止するため、巡回パトロール体制の整備を図り、ごみステーションの適正な管理に努めます。

住環境の整備については、尾崎地区の密集住宅市街地整備促進事業において、引き続き用

地取得や物件移転補償、道路整備を行うほか、新たに塩屋地区において、中町通線など3路線の拡幅整備に向けた調査設計に着手し、防災対策の促進に努めます。

公営住宅の環境整備としては、市営住宅長寿命化計画に基づき、塩屋団地及び塩屋西団地の施設整備を行うほか、新規入居者の基準緩和に伴う住宅管理システムの改修を行います。

上下道の整備については、安全で良質な水の安定供給のため、配水管の改良や布設、水源地における電気設備更新工事や(仮称)新坂越橋添架管設置工事などを実施します。

都市環境の整備については、赤穂城跡公園において、文化財保存整備と合わせ二之丸庭園の整備を進めるほか、野中・砂子公園の用地取得や城南緑地陸上競技場の再整備、都市公園の遊具の更新などにも取り組めます。

また、赤穂海浜公園の北側に、人と自然との交流とふれあいの場として尾崎・御崎地区都市再生整備事業を進めるとともに、関連事業として同公園の東側に、少年野球など多目的に利用できる赤穂元禄スポーツセンターを開設します。

都市景観の形成については、

市民の防災意識の高揚については、住民の皆様や自主防災組織、消防団との連携・協力による地域での防災訓練、地域ごとに行っていたいただいているコミュニティ防災訓練や標高表示板を設置するほか、本年度は、防災行政無線整備に向けての基本設計・実施設計を行うなど、防災意識の啓発と防災行動力の向上を図ります。

また、地震対策として、住宅の耐震化が有効であることから、引き続き住宅耐震改修への助成や簡易耐震診断推進事業を実施します。

消防・救助体制の充実・強化については、泡原液搬送車や第4分団の消防ポンプ自動車の更新、消火栓の増設などのほか、有年槽原地区等の小型動力ポンプの更新を図ります。

また、救急体制については、気管挿管や薬剤投与などに対応できる救急救命士を養成するとともに、AED整備事業として、救命講習会の開催や「赤穂安全・安心ステーション」の拡充に努めます。

洪水等の治水対策については、県との連携により千種川や加里屋川、矢野川の護岸整備などを推進します。

次に、交通安全対策について



施政方針にみる 新年度の主要施策と 予算のあらまし

国際理解の推進については、姉妹都市ロッキングハム市への中学生の派遣及び同市からの生

地域間交流については、笠間市及び山鹿市とのスポーツや文化活動などを通じた姉妹都市交流をはじめ、義士祭における忠臣蔵交流物産市の開催や東京スカイツリーでの忠臣蔵サミット都市リレーキャンペーンなどを通じて、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を一層推進します。

用し、PR活動を積極的に行うとともに、観光ボランティアガイドの育成についても取り組みます。また、土曜日開催となる第110回記念義士祭についても、市民と一体となって積極的な観光客の誘致に努めます。

多様な交流の推進

就労環境の整備については、緊急雇用就業機会創出事業として起業支援型地域雇用創造事業や観光振興サポート事業を実施するほか、高齢者就業機会確保事業への助成などを行い、勤労者福祉の増進に努めます。

広域連携については、東備西播定住自立圏をはじめ、千種川水系市町、JR赤穂線沿線市町、兵庫岡山西界隣接市町村などの連携、協力を推進します。

産業と交流が盛んな活力のあるまち

活力ある産業を形成する

①地域産業を振興する

- 産業活性化支援事業 ……1,008万円
- ★新規高卒者雇用奨励金交付事業 ……480万円
- 新規高卒者の正規雇用1人当たり12万円を支給
- 企業誘致促進事業 ……125万円
- 工場立地促進奨励金交付事業 ……777万円

②商業の振興を図る

- 商店街振興対策事業 ……109万円
- 中心市街地にぎわいづくり事業 ……1,080万円
- 中小企業振興事業補助金 ……330万円
- ★商工会議所活動費補助金外
- 中小企業経営安定資金融資預託金 ……3億3,000万円
- 中小企業経営安定資金利子補給 ……100万円
- 中小企業経営安定資金融資信用保証料助成 ……450万円

③地場産品を使った赤穂の魅力を創出する

- 地産地消推進事業 ……147万円
- 地場産業育成事業 ……72万円

④農業・漁業を活性化

- 水田利用振興事業 ……881万円
- 農業マイスター認定事業 ……15万円
- 野生動物対策事業 ……784万円
- 環境保全型農業支援事業 ……42万円
- ★経営体育成支援事業 ……446万円
- 経営体育成支援事業補助金
- ★新規就農総合支援事業 ……300万円
- 青年就農給付金 ……70万円
- 農村地域活性化推進事業
- 田園景観創出事業、都市農村交流事業
- ★農地・水保全管理事業 ……954万円
- 支援事業費負担金外
- 水産振興事業 ……491万円
- ★漁業振興安定対策事業外
- 土地改良事業補助 ……2,740万円
- 農業用施設整備事業 ……990万円
- 基幹水利施設ストックマネジメント事業 ……1,900万円

⑤観光の振興を図る

- 義士祭奉賛会補助 ……2,110万円
- ▷義士祭前夜祭事業(60万円)▷忠臣蔵交流物産市(220万円)▷義士祭宣伝事業外(930万円)
- ★義士祭パレード等事業(450万円)★義士祭観覧席設置事業(200万円)★忠臣蔵ウィーク事業(250万円)
- 入湯税引当観光振興事業補助金 ……1,764万円
- ★観光アクションプログラム推進事業 ……1,312万円
- ▷観光キャンペーン事業(270万円)▷観光協会事業補助(547万円)▷観光イベント等補助(334万円)▷観光ボランティアガイド育成事業(15万円)▷観光客おもてなし事業(20万円)▷広域観光推進事業(76万円)▷JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金(50万円)
- ★温泉源掘削事業補助金 ……502万円
- ★観光案内看板設置事業 ……500万円
- 更新24基外

⑥就労環境を充実する

- ★起業支援型地域雇用創出事業 ……722万円
- ★起業支援型地域雇用創出事業 ……750万円
- 観光振興サポート事業
- 雇用促進セミナー等事業 ……18万円
- 勤労者住宅資金融資預託金 ……6,600万円

⑦地域情報化を推進する

- ①地域情報化を推進する
- 行政事務電算高度利用事業 ……4,355万円
- 電算基幹業務再構築事業 ……7,420万円
- 事務改善経費 ……1,420万円
- 住民基本台帳ネットワークシステム管理経費 ……255万円
- 戸籍事務電算化事業 ……4,650万円
- 戸籍システム改修経費 ……152万円
- 市例規集情報化推進事業 ……538万円
- 情報教育推進事業 ……7,560万円
- 図書館情報化システム事業 ……1,540万円
- 議会情報化推進事業 ……299万円
- ★議会映像インターネット配信経費外
- ★情報基盤整備事業 ……2,380万円

⑧国際理解を深める

- 国際交流推進事業 ……56万円
- 国際理解教育推進事業 ……1,931万円
- ▷外国人講師による英語教育(小学校1名、中学校2名)▷ロッキングハム市小学生作品交流 ……409万円

⑨国際理解を深める

- ①国際理解を深める
- 国際交流推進事業 ……56万円
- 国際理解教育推進事業 ……1,931万円
- ▷外国人講師による英語教育(小学校1名、中学校2名)▷ロッキングハム市小学生作品交流 ……409万円

⑩多様な交流を推進する

- ①近隣市町村との広域連携を進める
- 定住自立圏構想推進経費 ……12万円
- ②特色ある地域間交流を進める
- 義士親善友好都市交流事業 ……232万円
- 東京スカイツリー忠臣蔵サミットキャンペーン外
- 文化交流事業 ……44万円
- 地域間文化交流事業(西尾市外)
- ③国際理解を深める
- 国際交流推進事業 ……56万円
- 国際理解教育推進事業 ……1,931万円
- ▷外国人講師による英語教育(小学校1名、中学校2名)▷ロッキングハム市小学生作品交流 ……409万円

自然と共生する住みよいまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

自然と共生するまちをつくる

①豊かな自然環境を保全する

- 環境保全型農業支援事業 ……[再掲42万円]
- ★山地緑化事業 ……660万円
- ★遊歩道整備事業外
- ★赤穂ふれあいの森整備事業 ……180万円
- 施設整備外
- ふるさとの風景づくり整備事業 ……780万円
- 公園整備外(福浦新田地区)

②さわやかな生活環境を保全する

- 環境基本計画推進事業 ……176万円
- ★河川台帳整備事業 ……300万円
- ★公共下水道事業 ……12億7,730万円
- ★特定環境保全公共下水道事業 ……7,860万円

③地球環境にやさしいまちをつくる

- 住宅用太陽エネルギー利用機器設置補助事業 ……2,800万円
- ★資源ごみ集回回収奨励事業 ……1,100万円
- ★ごみ減量・資源化推進事業 ……106万円
- ★資源ごみ持ち去り防止対策事業 ……217万円
- ★巡回パトロール外
- リサイクル運動推進事業(消費者協会補助) ……48万円

④公共灯整備事業 ……[再掲280万円]

- ★太陽光パネル設置事業 ……[再掲440万円]
- ★ごみ処理施設整備事業 ……3億8,900万円
- ★ごみ処理施設大規模改修外
- ★不燃物最終処分場整備事業 ……720万円

⑤地域住宅等整備事業 ……[再掲2,140万円]

- ★地域住宅等整備事業 ……[再掲2,140万円]
- ★上水道の整備 ……6億8,753万円
- ⑥水とみどり豊かな都市環境をつくる
- ★赤穂城跡公園整備事業 ……1億1,900万円
- ★野中・砂子公園整備事業 ……9,210万円
- ★都市公園整備事業 ……1,300万円
- ★都市公園安全・安心対策事業 ……8,250万円
- ★城南緑地陸上競技場整備外
- ★城南緑地施設整備事業 ……600万円
- ★赤穂元禄スポーツセンター整備事業 ……890万円

⑦魅力ある都市空間を形成する

- ①快適な住環境をつくる
- ★住宅管理システム改修事業 ……284万円
- 入居基準緩和に伴うシステム改修 ……3,377万円
- ★公営住宅環境整備事業 ……3,377万円
- ★密集住宅市街地整備促進事業 ……[再掲6,150万円]
- ★地域住宅等整備事業 ……[再掲2,140万円]
- ★上水道の整備 ……6億8,753万円
- ②水とみどり豊かな都市環境をつくる
- ★赤穂城跡公園整備事業 ……1億1,900万円
- ★野中・砂子公園整備事業 ……9,210万円
- ★都市公園整備事業 ……1,300万円
- ★都市公園安全・安心対策事業 ……8,250万円
- ★城南緑地陸上競技場整備外
- ★城南緑地施設整備事業 ……600万円
- ★赤穂元禄スポーツセンター整備事業 ……890万円

⑧質の高い都市機能を整備する

- ①土地の利活用を適正に進める
- ★都市計画デジタル図管理事業 ……202万円
- ★都市計画基礎調査事業 ……100万円
- ★地区計画策定事業 ……60万円
- 尾崎地区
- ★地籍調査事業 ……1,605万円

⑨良好な市街地の整備を進める

- ★土地区画整理事業 ……7億6,750万円
- ▷有年地区 55.0ha 区画道路築造工事外(5億3,000万円)▷野中・砂子地区 45.2ha 組合補助金外(8,750万円)▷浜市地区 22.2ha 市助成金(1億5,000万円)
- ★密集住宅市街地整備促進事業 ……6,150万円
- 尾崎地区 27.5ha 物件補償外
- ★地域住宅等整備事業 ……2,140万円
- 詳細設計外(市道中町通線外)

第3の柱

産業と交流が盛んな活力のあるまちづくり

活力ある産業の形成

地域産業の振興と雇用の場を確保するため、住宅リフォーム

また、野中・砂子地区や浜市地区においては、組合へ補助金などを交付することにより、区画道路築造工事など、事業の進捗を図ります。

質の高い都市機能の整備

土地利用については、新たに尾崎地区において、住民主体のまちづくりを具現化するため、地区計画を策定するほか、北野中、砂子、浜市地区においては、加木屋川の早期整備に向けた先行地籍調査事業を実施します。

また、中小企業経営安定資金融資については、中小企業経営安定資金融資信用保証料の助成や中小企業経営安定資金融資に係る利子補給を行うなど、資金融資の円滑化を推進し、経営基盤の安定化のための支援を行います。

また、中小企業経営安定資金融資については、中小企業経営安定資金融資信用保証料の助成や中小企業経営安定資金融資に係る利子補給を行うなど、資金融資の円滑化を推進し、経営基盤の安定化のための支援を行います。

商業振興については、中心市街地において、商工会議所等と連携して、いきつき広場での「加木屋さんもく楽市」や「まるごと赤穂大博覧会」を開催するほか、忠臣蔵関係の展示を加えた情報物産館を開設するなど、商業の活性化と観光振興の充実強化を図り、地域のにぎわいづくりを推進します。

水産振興については、漁業の生産性の向上を図るため、アサリの種苗放流、漁船損害保険の掛金に対する助成を行うとともに、新たに干潟保全活動に対する支援を行います。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会をはじめ、JR、関係団体、近隣市町とも連携して、多彩なイベント等を実施するほか、観光周遊バス「くらちゃん号」の運行やマスコミキャラクター「陣たくん」を活

基礎強化育成事業、新規就農者や認定農業者の経営支援事業などを通じて、農業経営者の育成に努めるとともに、猪や鹿等の野生動物による農作物被害を防止するため、野生動物や有害鳥獣対策に引き続き取り組むほか、農業者戸別補償制度の円滑な実施に努めます。また、農地や水路などの農業基盤の保全管理や農村環境の保全を推進します。

生涯にわたり夢を育むまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

教育環境を整える

①幼児・義務教育を充実する

- ・新教育課程研究推進事業外 ……115万円
- ・教育研究所経費 ……130万円
- ・コミュニティ・スクール推進事業 ……70万円
- ★コミュニティ・スクール研究経費
- ・命を守る教育推進事業 ……47万円
- ・キャリア教育推進事業 ……116万円
- ・子どものちから応援事業 ……93万円
- ★こころの教育実践モデル地域推進事業 ……70万円

- 道徳教育実践研究事業外
- ・心いきい推進事業 ……929万円
- ★不登校児童生徒防止のための総合的対応
- ★いじめ問題等対策推進事業 ……174万円

- 第三者委員会開催経費外
- ・国際理解教育推進事業 ……[再掲 1,931万円]
- ・中学生海外派遣事業 ……[再掲 409万円]
- ・コンピュータCAI研究奨励事業 ……218万円
- ・情報教育推進事業 ……[再掲 7,560万円]
- ・地域サポート安全対策事業 ……[再掲 131万円]
- ・読書指導の振興と図書整備事業 ……498万円
- ★非構造部材耐震対策事業 ……150万円
- 戸棚等転倒防止対策(小学校・中学校)
- ★幼稚園預かり保育事業 ……3,510万円

- 実施園(8園)に有年幼稚園、原幼稚園を加え10園で実施
- 新たに対象を4歳児にも拡大
- ★幼稚園未就園児保育事業 ……40万円
- 未就園児(3歳児)親子を対象とした体験保育
- ・放課後子ども教室推進事業 ……292万円
- ・多子世帯保育料軽減事業 ……47万円
- ★学校給食モニタリング事業 ……25万円
- 放射性物質検査
- ・大型備品整備事業 ……1,462万円
- ・耐震対策補強事業 ……2,980万円
- ・大規模改造事業 ……1億4,270万円
- ・太陽光パネル設置事業 ……440万円

- ・坂越中学校整備事業 ……2,500万円
- ・給食センター整備事業 ……1,440万円
- ②特別支援教育を充実する
- ・特別支援教育推進事業 ……1,535万円
- 特別支援教育指導補助員配置事業外
- ・特別支援教育事業 9幼稚園 ……1,600万円
- ③信頼される学校づくりを進める
- ★教育委員会たより等発行事業 ……42万円
- ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……377万円
- ★環境体験事業 ……180万円
- 特色ある学校づくり事業(環境体験学習)
- 10小学校
- ★中学生地域貢献活動推進事業 ……40万円
- 特色ある学校づくり事業(地域貢献活動)
- 5中学校

- ④若い力を健全に育成する
- ・青少年健全育成推進事業 ……182万円

生涯学習・スポーツ活動を推進する

- ①生涯学習を充実する
- ・生涯学習推進専門員設置事業(1名) ……186万円
- ・子育て学習活動推進事業 ……427万円
- ・公民館活動の充実 ……755万円
- ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……100万円
- ・耐震診断推進事業 ……300万円
- ・図書館事業の普及 ……3,510万円
- ・市民会館整備事業 ……972万円
- ・公民館整備事業 ……1,050万円

- ②スポーツ活動を推進する
- ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,521万円
- ・体育振興事業(体育協会補助金外) ……168万円
- ・スポーツ先進都市推進事業 ……200万円
- ★スポーツ推進計画促進事業 ……28万円
- スポーツ連絡協議会開催経費外
- ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第25回) ……250万円

- ・近畿高等学校剣道選抜大会(第7回) ……100万円
- ・赤穂義士杯青少年柔道大会(第7回) ……100万円
- ・赤穂義士旗争奪親善ゲートボール大会(第18回) ……5万円
- ・坂越湾ヨットレース(第4回) ……10万円
- ・赤穂シティマラソン大会開催経費(第3回) ……1,700万円
- ・体育施設整備事業 ……1,134万円
- ★赤穂元禄スポーツセンター ……[再掲 890万円]
- ・尾崎・御崎地区都市再生整備事業 ……[再掲 4億2,880万円]

多目的運動施設

個性ある地域文化を創造する

- ①歴史・伝統文化を継承し活用する
- ・地域文化財調査事業 ……96万円
- ・「忠臣蔵」編さん事業 ……1,980万円
- ・文化財保存顕彰事業 ……20万円
- ・文化財普及活用事業 ……194万円
- ・文化財公開活用事業 ……490万円
- ・赤穂城跡整備事業 ……2,590万円
- ・赤穂城跡公園整備事業 ……[再掲 1億1,900万円]

- ・埋蔵文化財調査事業 ……815万円
- ・文化財施設整備事業 ……400万円
- ・民俗資料館整備事業 ……100万円
- ・歴史博物館整備事業 ……460万円
- ・海洋科学館整備事業 ……200万円
- ・田淵記念館整備事業 ……190万円
- ②文化芸術活動を推進する
- ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,610万円
- ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……1,400万円
- ・文化会館整備事業 ……1億3,100万円



徒の受け入れなど、両市の交流の絆をさらに深めるとともに、国際交流協会と連携し地域の国際化を推進します。

また、小・中学校において、引き続き外国人英語講師3名を配置し、国際理解教育を推進します。

定住の促進については、赤穂の魅力発信するため、定住パンフレットの作成や都市部での定住相談会を実施するほか、新婚世帯に対する賃貸住宅家賃の一部を助成するとともに、「転入者定住支援金」の交付による定住の促進と市内経済の活性化に努めます。

交流基盤の整備

公共交通の確保と利便性の向上については、引き続き定住自立圏共生ビジョンに基づき、圏域バスの運行に取り組みとともに、この圏域バスを活用した市内循環バス「ゆらのすけ」の増便について、市民や関係者で構成する地域公共交通会議での協議を経て実施します。

生活道路の整備として、東洋紡前線や中洲幹線道路改良工事などを実施するほか、都市計画街路の整備として、赤穂大橋線に係る用地買収・物件移転補償

償・道路整備や有年横尾線におけるJR有年駅の自由通路設置工事を実施します。

なお、本年度、長期未着手の都市計画道路については、存続、変更及び廃止の検討を行います。

また、国道2号のバイパス建設や坂越大橋を含むバイパス部分など国道250号の改良、交通安全施設の早期整備について、国、県に引き続き要請し、事業の促進を図ります。

地域情報化の推進

市内の光ファイバー整備後の取り組みとして、インターネットなどの活用による、住民や商店等からの積極的な情報発信を促し、住民と行政、住民相互の繋がりの拡大を図ります。また、小・中学校におけるインターネットなどを活用した情報教育を推進するとともに、中央公民館において、高校生以上を対象としたパソコン講座を引き続き開催します。

第4の柱

生涯にわたり

夢を育む

まちづくり

教育環境の整備

教育環境の整備を推進するにあたっては、質の高い教育、人づくりを推進するため、子どもたちに、「こころ豊かな人間性」と「生きる力」を育むことができるよう教育振興基本計画(赤穂教育プラン)に基づき、総合的・計画的に推進します。

幼児教育の充実については、幼児を持つ家庭や地域社会との連携を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな教育を推進します。

このため、家庭の教育力を向上させるための施策を総合的に推進するとともに、預かり保育の更なる拡充など、保育所、幼稚園での子育て支援を積極的に展開します。

義務教育の充実については、教職員の資質と指導力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、子どもたちに確かな学力や豊かな心を身につけさせるなど、「生きる力」の育成を重視した教育活動の充実に取り組めます。

このため、子どものちから応援事業として、基本的な生活習慣を確立するとともに、知徳・

体のバランスのとれた子どもを育むため赤穂ドリル活用の読書活動の推進、たくましい体づくりのための取り組みなどを進めます。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて児童の勤労観・職業観を醸成するとともに、将来への夢や希望を育むキャリア教育推進事業に取り組むほか、救急救命や防災・防犯教育などを通じて「命を守る」こころや態度を育む学習を進めます。

なお、「いじめ問題等再発防止に係る第三者委員会」からの提言を受け、次代を担う子どもたちがすこやかに成長し、いじめ問題を含まれた非行防止と事件の再発を防止するための施策として、カウンセラーやスクールカウンセラーの増員、子どもたちの主体的活動による非行防止活動など、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、地域社会全体で、いじめや非行防止対策に取り組めます。

施設整備としては、赤穂小学校、尾崎小学校における大規模改造工事をはじめ、尾崎小学校、御崎小学校、高雄小学校、赤穂中学校、赤穂西中学校及び赤穂東中学校において、耐震対策補強事業や大規模改造事業の実設計を行うほか、赤穂西幼稚

園、御崎幼稚園、坂越幼稚園及び高雄幼稚園においても、耐震対策補強事業の実設計を行います。

また、大規模改造事業と合わせ計画的に進めている太陽光パネルの設置については、本年度は御崎小学校、高雄小学校、赤穂西中学校及び赤穂東中学校の実設計を行います。

特別支援教育の充実については、発達に障がいのある子どもに対する支援として、必要な小・中学校に特別支援教育指導補助員を配置するとともに、幼稚園においても、加配教諭を増員配置し、障がいの特性に応じた適切な指導を行います。

また、信頼される学校園づくりとして、コミュニティ・スクールの推進、オープンスクールや「トライやる・ウィーク」推進事業、環境体験事業や地域貢献活動推進事業などを通して、地域の人々とのふれあいを深め、人的資源を活用した地域に開かれた教育活動を進めます。

若い力の健全育成としては、青少年育成推進委員と連携しながら、地域社会と協働して啓発活動などに取り組むとともに、不登校などの対策については、関西福祉大学や関係機関との連携を深め、教育相談やこ





生涯学習・スポーツ 活動の推進

生涯学習の充実については、すべての市民が生涯にわたり自発的・主体的に学ぶことができる学習機会の提供に努めます。生涯学習の拠点である中央公民館や各地区公民館においては、体系的な学習機会の場の提供として、子ども教室、パソコン講座や外国語講座、高齢者生きがい創造事業などを開催するほか、高齢者大学、千種川カレッジ、特色ある地区公民館事業を実施し、多様化する市民ニーズに応えます。また、耐震対策として、尾崎公民館の耐震診断を実施します。

子育て学習活動推進事業については、子育て悩み相談や子育てグループの育成を図るほか、各地区公民館での子育て出前講座を継続実施します。

図書館については、施設の環境整備を図るとともに、子ども読書活動推進計画に基づき、歴史文学講座や絵本講座、ブックスタート事業などの創作活動の推進と、子どもの読書環境の整備に努めるほか、周辺地区を対象にしたブック宅配サービスに

ついても引き続き実施します。また、図書館の情報化を推進するため、電子図書館サービスについても導入します。

スポーツ活動の推進については、昨年2月のスポーツ都市宣言を契機として、新たなスポーツ・レクリエーション施設整備を推進するとともに、スポーツ推進計画を効率的・効果的に推進するため、スポーツ連絡協議会の機能強化を図り、スポーツ活動の場と機会の充実を努めます。

生涯スポーツの推進については、体育協会、関係スポーツ団体の協力を得て、市民総合体育祭や各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催などを支援するほか、地域でのスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。

また、スポーツの振興と交流機会の拡大を図るため、忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会、近畿高等学校剣道選抜大会などを継続実施するほか、第3回赤穂シテイマラソン大会や親善ゲートボール大会などを開催して、スポーツによる元気なまちづくりを推進します。

個性ある地域文化の創造

歴史資源の保全・整備につい

ては、文化財保存整備事業として、引き続き赤穂城跡の二之丸石垣の整備などを行います。

文化財の保存活用については、埋蔵文化財の発掘調査や地域文化財調査、普及啓発看板の設置などの文化財顕彰事業のほか、有年考古館については、引き続き特別展や講演会などを開催するなど、積極的な活用を進めます。

芸術文化活動の拠点施設としての文化会館は、市民の多様なニーズに応え、広く利用され交流の場となるよう運営に努め、鑑賞事業としては、新作SPAー能「世阿弥」をはじめ、一流のアーティストによるコンサート、歌舞伎、ミュージカルなどを開催します。

市民参加型事業としては、今宵ひとときコンサート、ぶらつとフラットコンサートなどを実施するほか、ヴァイオリンアンサンブル教室や吹奏楽教室を引き続き開催します。

施設整備としては、文化会館の設備等の大規模リニューアルについては、本年度は3か年計画の最終年度として、大ホール及び小ホールの照明設備の改修を実施します。

また、文化団体と連携しながら市民文化祭や美術展、観月会

健全で効率的な 行財政運営

地方分権や社会環境が著しく変化する中で、多様化、高度化し、増大する市民ニーズを的確に把握し、果敢にチャレンジする行動力を身につけ、地域の諸課題を解決することが行政に求められています。

このため、人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりが危機管理能力やコスト意識と経営感覚を身につけ、時代の変化に対応できるとともに、市民の視線で考え、行動し、市民から信頼され親しまれる人材の育成に努めます。

本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続いていますが、引き続き徹底した行財政改革を推進し、行政経費の節減に努めるほか、将来における財政負担増大の懸念を払拭し、財政の健全化に資するため、平成25年度において「第三セクター等改革推進債」を活用し、赤穂市土地開発公社を解散します。

また、施策の展開にあたっては、限られた財源の中で、緊急性や必要性などを十分に検討し、「選択と集中」による財源の重点的、効率的な配分を行い、

持続可能な行財政基盤の構築に努めます。

最後に、このように市政を取り巻く環境は、引き続き厳しいものがありますが、市民の皆様と協働して「元気で魅力あふれる 将来にわたって輝き続けるまち」を目指して全力を尽くしてまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。



第5の柱

市民と行政が ともに歩む まちづくり

市民との協働

成熟社会を迎えた今、市民が主体的・積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が協働して、誇りと愛着もてる活力に満ちた地域社会を創造することが求められています。また、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進していく必要があります。

このため、市政のあらゆる分野において、個人情報の保護に配慮しながら、個人情報保護条例や情報公開条例の適正な運用に努めるとともに、様々な情報媒体を有効に活用しながら、行政が積極的に情報提供を行うだけでなく、市民と行政が情報を共有し、パブリックコメント制度、審議会等の委員の市民公募などについて、市民が参加し

市民と行政がともに歩むまち ★印=新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

市民との協働を推進する

- ①開かれた市政を推進する
 - ・高等教育機関連携推進事業 ……20万円
- ②市民と行政の情報共有を進める
 - ・広報の充実 ……937万円
 - ・情報公開・個人情報保護推進経費 ……70万円
 - ・ホームページ運営経費 ……404万円
 - ★窓口発ふるさと赤穂PR事業 ……60万円
 - PR用スタンプ作成外
- ③男女共同参画社会を築く
 - ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……430万円
 - 審議会委員報酬、相談業務、講演会外
 - ★第2次男女共同参画プラン策定

多様なコミュニティ活動を活性化

- ①多様なコミュニティ活動を活性化
 - ・まちづくり振興協会補助 ……2,750万円
 - ・地区まちづくり支援事業 ……778万円
 - ・集会施設設置事業 ……580万円
 - ・コミュニティーセンター等整備事業 ……19万円

健全で効率的な行財政運営を行う

- ①健全で効率的な行財政運営を行う

- ・行政事務電算高度利用事業 ……[再掲 4,355万円]
- ・電算基幹業務再構築事業 ……[再掲 7,420万円]
- ・事務改善経費 ……[再掲 1,420万円]
- ・住民基本台帳ネットワークシステム管理経費 ……[再掲 255万円]
- ・戸籍事務電算化事業 ……[再掲 4,650万円]
- ・戸籍システム改修経費 ……[再掲 152万円]
- ・市例規集情報化推進事業 ……[再掲 538万円]
- ・情報基盤整備事業 ……[再掲 2,380万円]
- ・固定資産評価資料作成事業 ……3,725万円
- ・徴収対策事業 ……931万円
- ★特別職報酬等審議会開催経費 ……37万円
- ★入札事務改善経費 ……334万円
- 兵庫県電子自治体推進協議会電子入札部会負担金外
- ・行政評価推進事業 ……34万円
- ・赤穂市議会議員選挙 ……90万円
- 平成25年4月8日 任期満了
- ★兵庫県知事選挙 ……1,810万円
- 平成25年7月31日 任期満了
- ★参議院議員選挙 ……1,960万円
- 平成25年7月28日 任期満了

写真で見る予算

ごみ処理施設整備事業



事業費 **3億8,900万円**
市債 **3億2,400万円**
一般財源 **6,500万円**

本年度から3か年計画で、ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の大規模改修を実施するなど、施設の延命化と処理効率の向上を図ります。

新規高卒者雇用奨励金交付事業

事業費 **480万円**
一般財源 **480万円**



市内に居住する新規高卒者を正規雇用した市内事業所の事業主に対して、奨励金を交付することにより、若年者の地元企業等への雇用機会の拡大と定住人口の増加を図ります。

尾崎・御崎地区都市再生整備事業



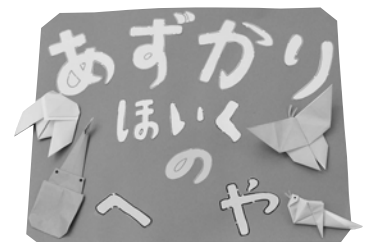
事業費 **5億8,760万円**
国庫補助金 **1億9,440万円**
市債 **3億3,860万円**
一般財源 **5,460万円**

赤穂海浜公園の北側に児童厚生施設（児童館）を併設した多目的運動施設の整備に着手するほか、同公園東側に整備を進めてきた赤穂元禄スポーツセンターを供用開始するなど、スポーツ・レクリエーション拠点としての機能向上を図ります。

幼稚園預かり保育事業

事業費 **3,510万円**
一般財源ほか **3,510万円**

新たに年少4歳児を対象児童とし、有年・原幼稚園を加えた市内すべての幼稚園で預かり保育を実施し、専任教諭の配置により幼児教育の充実を図ります。



防災行政無線整備事業



事業費 **1,400万円**
市債 **1,060万円**
一般財源 **340万円**

地震、津波、風水害等の自然災害から、市民の生命、身体を守るため、防災行政無線の整備に着手し、迅速・的確な情報伝達体制の整備を図ります。

土地区画整理事業

事業費 **7億6,750万円**
国庫補助金 **2億4,650万円**
市債 **4億6,480万円**
一般財源ほか **5,620万円**



有年地区、野中・砂子地区、浜市地区における土地区画整理事業を推進し、道路や公園の整備並びに宅地の利用促進を図り、快適で機能的な生活空間を創出します。

定住支援推進事業



事業費 **1,395万円**
一般財源 **1,395万円**

新たに新婚世帯に対して賃貸住宅の家賃の一部助成を行い、市内外の若者世代の本市への定住を促進するとともに、「転入者定住支援金」の限度額を一部見直し、引き続き交付します。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切に、美しいまちをきざみます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまわりを守り、秩序ある生活をおくります。